

被災者の「環境移行」が第一歩

特集座談会「東日本大震災で何が変わる?」

「環境移行」がキーワードになっていいます。アメリカで始まった研究です。高齢者を長年住んだ自宅から高齢者施設への対応もなしに転居させた場合、新たな環境に順応できず、身体・精神の両面で著しい機能低下を引き起こすという考えです。

災害時に転居せざるを得ない被災者も当時は多かったです。重要なポイントは、被災者が新たな住居に「転居者が新たな住居に」対して手を加えられることが必要という点です。手を加えるというのは、物理的な動作を指します。壁にお気に入りのホスターを張るなど、居住空間を自分らしく塗り替えていく作業を行えることが大切です。

出席者 (敬称略)

北海道大学大学院工学研究科 建築都市空間デザイン部門教授 森 純一

J建築システム株式会社取締役 手塚 純一

北海道建築工務代表取締役 小室 雅伸

(司会) 株式会社北海道住宅通信代表取締役 野島 宏利



小室 雅伸氏

阪神淡路大震災の際には、ソフト面(配慮した行政のフロアが確保できていなかったため、物量不足)が確認されました。ソフト面を無視した急転居住宅の供給の両面で著しい機能低下を引き起こすという考えです。

新築中絶地震は、複数の応急仮設住宅を建設する場合、集会所などの「コミュニティ施設」を併設することがルール化されました。

「応急仮設住宅は一時の避難場所」という物理的な動作を指します。壁にお気に入りのホスターを張るなど、居住空間を自分らしく塗り替えていく作業を行えることが大切です。

しかし、段ボールが積まれた居住空間では被災者の生活の現実を常に意識させるを得ず、ストレスが蓄積されていきます。

今回の被災地では、さらには「住みこなし」を深めた「住みこなし」の考え方が実践され始めています。避難生活で過剰なストレスを溜め込まないために荷物をすぐに解体し、居住スペースを自分好みにカスタマイズする「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

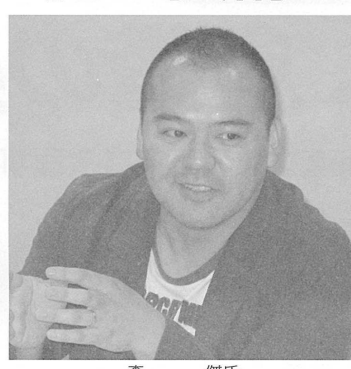
「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

基本性能高めた「耐災」基準を

断熱・気密の施工技術で復興を支援



手塚 純一氏



森 純一氏

「1000年に一度」と電線が切れて火花を散らす被災地では、どこを見ても何から建物の形が残っていたか、今回造られた建築物は、木造の建築物に、地震波の多くが空を伝っていったのを思い出し、被災地では、断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「1000年に一度」と電線が切れて火花を散らす被災地では、どこを見ても何から建物の形が残っていたか、今回造られた建築物は、木造の建築物に、地震波の多くが空を伝っていったのを思い出し、被災地では、断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

FOCUS
再生の視点

東日本大震災で何が変わる?

冷暖房費は建築家の責任 孤独死防ぐ「住みこなし」 「雪の脅威」への対処重要

小室 森 手塚

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ただ、今回は被災者の数に比べ応急仮設住宅の供給量が追いついていないため、ソフト面のありようを議論するまでには至らないのが残念です。

「住みこなし」が重要で、個人的には仮設住宅も一定の進歩を遂げていると判断しています。

ダブルパンチ現象で被害 本震と余震で違う地震波 繰り返す内部結露の連鎖

手塚 森 小室

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

自然の脅威を改めて痛感 津波被害 復興の「手掛かりがない」

津波被害 復興の「手掛かりがない」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」

「断熱・気密の施工技術で復興を支援する必要がある。」